

【木工・バック・おべんとう】**平成 28 年 10 月 29 日(土)****1 日 程**

清水中学校会場

受付 8:30～9:00 正面玄関（工具、マシン、炊飯準備）

開会式 9:00～9:15 3年ホール（北校舎 2F）

木工 部門（木工室）	アイデアバッグ部門（被服室）	おべんとう 部門（調理室）
競技 9:30～11:30	競技 9:30～11:30	競技とプレゼン
昼食 11:30～12:10	昼食 11:30～12:10	9:30～11:30
競技 12:10～14:10	競技 12:10～13:10	昼食 11:30～12:10
片付け 14:10～14:30	発表会 13:10～13:30	片付け等 12:10～13:30
感想記入・審査員の講評 14:30～15:00	感想記入・審査員の講評 13:30～14:00	感想記入・審査員の講評 13:30～14:00
	体験講座 14:00～15:00	体験講座 14:00～15:00
閉会式 15:00～15:30 3年ホール（北校舎 2F）		

開会式 はじめの言葉（ ）
主催者あいさつ 審査員紹介
競技についての連絡（各部門）
終わり言葉（ ）

閉会式 はじめの言葉（ ）
結果発表 表彰（ ）
主催者あいさつ、連絡
終わり言葉（ ）

2 参加生徒**【木工】** 地区大会で入賞者がエントリーした。**【アイデアバック】** 作品レポート審査で事前に選抜した。**【お弁当】** レポート審査で事前に選抜した。

3 競技内容

木 工 チ ャ レ ン ジ	<p>自由課題製作を4時間で行う。与えられる材料は使用する材料はヒノキ集成材2枚（長さ900，幅200，厚さ15）とする。県大会では蝶番やベニヤ板等は使用しない。製作品の大きさは、3辺の合計が160cmまでとする。長野県代表を1名選考し全国審査にエントリーする。</p> <p>評価の観点（全国大会に準じる）</p> <p>①作品の構想力・独創性 ②木工作業の計画性・合理性・安全性 ③木工技能の精度・合理性 ④作品の機能性・精度 ⑤製作効率</p> <p>※表面削りを行うこと（削り面は評価しない。削る姿勢を審査する。表面削り時間延長も考慮する） ※当日は設計図のコピーをお持ちください。</p>
ア イ デ ア バ ッ ク	<p>長野県代表を3名選考し、2名の作品は関東甲信越大会（12月6日群馬県）にエントリーする。</p> <p>製作について</p> <p>①デザインについては各自工夫する。裏地はつけずに一重仕立てとする。 ②材料は2000円以内とする。 ③立体構成にする。『バッグ』の口がふさがるようにする。 ④ポケットは必ず『バック』本体につける。※貼り付けポケットを必ず一つつけること。（ポケットのうち必ず1つは、ポケット口を三つ折りにし、手でまつり縫いをする。） ⑤スナップは必ず1つ以上付ける。（ボタンを付けることは可能） ⑥<u>布の裁断は事前に行っておき、当日の競技は縫製から始めることができるようにする。</u> ⑦当日製作した『バッグ』の利用について、実際に入れるものを使いながら発表会を行う。 1分程度の発表を行う。</p>
お 弁 当	<p>第16回全国中学生創造ものづくり教育フェアの規定に従う。</p> <p>長野県代表1グループを選考し、全国審査にエントリーする。（12月中旬 全国レポート審査）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規定課題「魚」を使った調理を主菜。材料費の目安は一人分800円以内とする。 ・魚は切り身やすり身、干物、缶詰、冷凍等でよい。甲殻類（エビ、イカ、カニ）は不可。

【ロボコン】 平成28年11月12日(土) 大町市立仁科台中学校校体育館

県大会は、4部門に分けて行う。1日で全ての部門を行う。（別紙参照）

「n- robo 部門」は例年通りに行う。参加形態は授業、部活、その他自由。

「基礎部門」は全日中ロボコンのルール通りに県大会を行い、上位3チームが関東甲信越ブロックに出場できる。なお出場できるのは、必修授業で取り組んでいるチームに限る。

「活用部門」は全日中ロボコンのルール通りに県大会を行い、上位3チームが関東甲信越ブロックに出場できる。なお参加校は、コート作成をお願いする。

「応用部門」は全日中ロボコンのルール通りに県大会を行い、上位3チームが関東甲信越ブロックに出場できる。なお参加校は、コート作成をお願いする。

【作品コンクール】 平成28年11月19日(土)～20日(日) イオン佐久平

各地区のフェア担当や代議員が地区代表作品（技術5点 家庭5点）を持ち寄り展示する。

審査は11月19日(土) 午前中

I 授業内製作作品 部門

技術分野、家庭分野共に、教科の授業内に於いて授業時間内に創造製作をした作品の部門。（総合学習のもの、放課後活動等は含まない）

II 自主製作作品 部門

技術分野・家庭分野共に、長期休業や放課後活動等で、技術・家庭科で学習した知識や技術を發揮して製作した創造製作作品の部門。

応募作品の規定など

【大きさの制限】縦+横+高さ=160 cm 重量 25 kg以下

【作品製作費の制限】 I 部門は、製作費が 5000 円以下であること。

【制限に関する追記事項】

- ① 家庭分野衣類に関しては、人台に着せられるもの。
 - ② 家庭分野、折りたためて郵送できる大型作品については 900 mm×1500 mm以内
- ※技術作品 5 点、家庭作品 5 点を長野県代表として選考する。
※入賞作品は事務局で 1 月の全国フェア終了後まで預かる。

大会役員名簿

大会運営・役員

大会長 村澤資憲（緑ヶ丘中）
副大会長 鏡味洋子（旭町小）
木工 ◎大槻尚（長谷中） ○五味和高（箕輪中）
バック ◎原山こころ（大町第一中） ○渋谷和子（豊野中）
○藤原佐知子（伊那東部中）
おべんとう ◎市川このみ（塩尻西部中） ○滝沢かおり（清水中）
ロボコン ◎中村知宏（三陽中） ○土田恭博（長野東部中） ○原正人（稲荷山養護）
作品展示 ◎大井好文（小諸東中） ○各地区の代議員またはフェア担当者
木工・バック・おべんとう会場（清水中） 責任者 原山康則（清水中）
作品展示会場（イオン佐久平） 責任者 大井好文（小諸東中）
県事務局 田口直実（春富中）
フェア事務局 高井久（上田第三中）

審査員

木工 内田 実（上松技術専門校） 高山 和夫（富士見中学校長）
バッグ 福田 典子（信州大学） 小野 玲子（元校長）
おべんとう 石原 三妃（松本大学） 一志 千恵子（栄養士）
ロボコン 村松 浩幸（信大） 宮原 啓一（総合教育センター） ほか
作品展示 各地区の代議員またはフェア担当者

実技指導講師

アイデアバッグ・おべんとう : 小林 智子 様（コバヤシ造形堂）「布花製作」

今後の予定

関東甲信越大会

期 日 平成 28 年 12 月 4 日（日）

会 場 アイメッセ山梨（山梨県甲府市）

エントリー アイデアバック 2 名 ※この 2 名とは別に、最優秀 1 名は運営県枠として全国大会に出場
ロボコン 基礎部門 3 チーム 活用部門 3 チーム 応用部門 3 チーム
※おべんとう 1 グループ・木工 1 名は、直接全国大会事務局で審査を受ける。

第 17 回 全国中学生ものづくり教育フェア

期 日 平成 29 年 1 月 21 日（土）～22 日（日）

会 場 T O C 有明（東京江東区）：木工、アイデアバック、ロボコン、作品展示、パソコン
女子栄養大学：おべんとう